

石造宝塔



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	せきぞうほうとう
所在地	高梁市巨瀬町
指定年月日	昭和34年3月27日
解説	延文2年(1357)の造立。花崗岩製。総高3.58m。宝塔はほぼ完全な形で残っており、堂々とした威風を示している。国指定重要文化財の鼓神社宝塔との類似点が見られる。基礎の側面に縁を取り、正面のみ2区に分けて、銘文を刻んでいる。それによれば、僧栄覚が、隆善という人物を中心に多くの人々から出資を募り、建てられたものと分かる。祇園寺境内にある。
アクセス方法	有漢ICから車で30分
公開状況	外観のみ
設備	
備考	